

令和4年12月8日

保険薬局部会会員各位
(保険薬局管理薬剤師 様)

公益社団法人広島県薬剤師会
会長 豊見雅文

医療用医薬品の供給情報に関する調査（協力依頼）

平素より本会会務に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記のことについて、日本薬剤師会より協力依頼がありましたので、お知らせいたします。

神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科研究室 教授 坂巻弘之教授の研究室で、令和4年度厚生労働行政推進調査事業費「医療用医薬品・医療機器等の供給情報を医療従事者等へ適切に提供するための情報システムの構築に向けた研究」として、医薬品供給情報に関して医療関係者、薬剤師の供給情報ニーズをWebアンケートにて実施することです。

本研究では、医薬品が供給不足に陥る可能性がある場合、あるいは実際に供給不足に陥った場合に、供給不足の状況を迅速かつ正確に把握できる情報提供サイト構築の検討と、情報提供サイトに求められる運用と仕様案の提示を目的としており、日本における医薬品の一元的な供給情報等のシステム構築において、今後、重要な検討材料となるため、日本薬剤師会は同事業に協力することです。

貴薬局におかれましては、業務ご多忙の折恐れ入りますが、積極的な回答をいただきますようお願い申し上げます。

1. アンケート目的：保険薬局における医薬品供給情報に関する現在の問題点、今後の情報へのニーズ等の実態把握
2. 調査対象：保険薬局の管理薬剤師
3. 調査方法：Web調査回答
URL：<https://www.yano.co.jp/qa/pharmacist2022/>
ID番号：A384619
4. 回答期間：令和4年12月5日（月）～令和4年12月24日（土）
5. 情報の取り扱い：



アンケートは匿名での回答であり、医療機関名や回答者を特定することはありません。ご回答頂いたアンケートならびに入力データ、解析データ等は、個人情報保護法等関連法規に則り適正に保管します。なお、本調査に係るデータ入力・集計業務の一部を株式会社矢野経済研究所に委託しています。

6. 結果の取り扱い・公表：

集計・解析結果は、概要を日本薬剤師会に報告するとともに、厚生労働行政推進調査事業報告書として、厚生労働省（国立保健医療科学院Web システム）に提出します。また、研究論文として、関係学会あるいは、学術論文として発表することがあります。

7. 問合せ先：

神奈川県立保健福祉大学 大学院ヘルスイノベーション研究科 教授 坂巻弘之
Mail hiroyuki.sakamaki@nifty.com